

# 子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査の実施について

## 1. 調査概要

国においては、子ども・子育て支援事業計画策定に際し、子どもや保護者に対し、子ども・子育て環境や保育に関する調査を実施し、その結果を計画に反映することとされています。

安城市においても、国から示される調査項目案（就学前児童保護者のみ）をたたき台とし、市独自の調査項目、調査方法を検討していきます。

調査実施時期は、概ね11月上旬から予定しています。

### ■調査対象区分及び配布数・配布方法

調査対象区分	配布数	配布方法
①就学前児童（0～5歳児）の保護者	2,000	行連・郵送による配布・回収
②小学生の保護者	2,000	行連・郵送による配布・回収

## 2. 設問設計案

設問設計にあたっては、国から示されるニーズ量算出に必要な調査設問を抑えつつ、経年比較等に必要の前回調査の設問を整理することが重要です。

### （1）国で示されているアンケート調査項目（就学前児童の保護者用のみ：21ページ程度）

◎は国が示す「量の見込みの推計上、必要な項目」 ●は「その他の項目」

○安城市の調査項目

#### ・「就学前児童の保護者用アンケート」

大項目	設問項目	国	安城市
		就学前児童	就学前児童
居住地区	【1】居住地区	◎	○
子ども及び家族の環境	【2】子どもの年齢	◎	○
	【3】兄弟姉妹の人数	●	○
	【4】調査票の回答者、【5】回答者の配偶者関係	◎	○
	【6】子どもの子育て(教育を含む)を主にしている人	◎	○
子育て環境	【7】子育て(教育を含む)に日常的に関わっている人や施設	●	○
	【8】子育て(教育を含む)にもっとも影響すると思われる環境	●	○
	【9】日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無	●	○
	【9-1・2】祖父母や友人・知人にみてもらっている状況	●	○
	【10】子育て(教育を含む)をする上での相談できる人・場所の有無	●	○
	【10-1】子育て(教育を含む)に関しての相談先	●	○
	【11】子育てに関する情報の入手先	○	○

大項目	設問項目	国	安城市
		就学前 児童	就学前 児童
保護者の 就労状況	【12】父親・母親の就労状況／産休・育休・介護休業中かどうか	◎	○
	【12-1・2】就労時間(週あたり、1日あたり)／家を出る時間・帰宅時間	●	○
	【13】パート・アルバイト等で就労している父親・母親のフルタイムへの転換希望	◎	○
	【14】未就労の父親・母親の就労希望／希望する就労形態	◎	○
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	【15】定期的な教育・保育の事業の利用の有無	◎	○
	【15-1・3】定期的にご利用している平日の教育・保育の事業内容、利用頻度／利用希望頻度	◎	○
	【15-2】定期的にご利用している平日の教育・保育の事業の実施場所	●	○
	【15-4・5】定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由／利用していない理由	●	○
	【16】利用の有無にかかわらず、平日定期的にご利用したいと考える教育・保育の事業内容／利用頻度／利用したい理由	◎	○
	【16-1】教育・保育事業を利用したい場所	●	○
	【16-2】利用する場合の選択理由	○	○
地域の子育て支援事業の利用状況	【17】地域子育て支援拠点事業の利用状況	◎	○
	【18】地域子育て支援拠点事業の将来的な利用の検討・利用日数の増加の検討	◎	○
	【19】各事業の認知度、利用の有無、利用希望	●	○
土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	【20】土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望、利用したい時間帯	◎	○
	【20-1】毎週ではなく、たまにご利用したい理由	●	○
	【21】幼稚園利用者の長期休暇期間中(夏休み・冬休みなど)の教育・保育の事業の利用希望、利用希望時間	◎	○
	【20-1】毎週ではなく、たまにご利用したい理由	●	○
子どもの病気の際の対応(平日の教育・保育を利用する人のみ)	【22】子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無	◎	○
	【22-1】子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法・日数	◎	○
	【22-2】できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか／利用したいと思った日数	◎	○
	【22-3】休めなかった理由	●	○
	【22-4】できれば父母のいずれかが仕事を休んで見たかった日数	●	○
	【22-5】施設等を利用したいと思わない理由	●	○

大項目	設問項目	国	安城市
		就学前 児童	就学前 児童
不規則の 教育・保 育事業や 宿泊を伴 う一時預 かり等の 利用	【23】日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業内容・日数	◎	○
	【23-1】利用していない理由	●	○
	【24】私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思う年間日数	◎	○
	【24-1】私用等で子どもを預ける場合、望ましいと思う施設等の事業形態	●	○
	【25】保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時の対処方法・宿泊数	◎	○
	【25-1】親族や知人にみてもらった際の困難度	●	○
小学校就 学後の放 課後の過 ごし方 子育て情 報の入手 方法	【26～27】小学校低学年(1～3年生)時、小学校高学年(4～6年生)時別。放課後過ごさせたい場所、日数・時間	◎	○
	【28】土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望・希望利用時間	●	○
	【29】長期休暇期間中(夏休み・冬休みなど)の放課後児童クラブの利用希望・希望利用時間	●	○
	【30】夏休みの見守り・ふれあい活動の利用希望	○	○
子育て支 援等全般	【31】子育て支援に関する自由意見	●	○
職場の両 立支援制 度(育児 休業や短 時間勤務 制度など)	父親・母親の育児休業制度の取得状況	●	
	父親・母親が育児休業制度を取得していない理由	●	
	育児休業給付、保険料免除の認知度	●	
	育児休業取得後の職場への復帰状況	●	
	育児休業取得後の職場への復帰のタイミング	●	
	職場復帰時の実際の取得期間と希望	●	
	勤め先で育児休業が3歳まで取得可能な場合の希望取得期間	●	
	希望の時期に職場復帰しなかった理由	●	
	職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	●	
	短時間勤務制度を利用しなかった理由	●	
	子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかどうか	●	
教育・保育環境の充実など子育て支援に関して	●		
満足度	子育て支援や環境に対する満足度	●	

・「小学生の保護者用アンケート」

大項目	設問項目	国	安城市
		小学生	小学生
居住地区	【1】居住地区		○
子ども及び家族の環境	【2】調査票の回答者		○
	【3】子どもの年齢		○
	【4】子どもと同居している人		○
	【5】子どもの子育て(教育を含む)を主にしている人		○
	【6】日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無		○
	【7】子育てに関する情報の入手先		○
保護者の就労状況	【8】父親・母親の就労状況／産休・育休・介護休業中かどうか		○
	【8-1・2】就労時間(週あたり、1日あたり)／家を出る時間・帰宅時間		○
	【9】パート・アルバイト等で就労している父親・母親のフルタイムへの転換希望		○
	【10】未就労の父親・母親の就労希望／希望する就労形態		○
小学校就学後の放課後の過ごし方	【11】平日の放課後児童クラブの利用の有無		○
	【12】平日の放課後児童クラブの利用時間・希望利用時間		○
	【12-1】土曜・日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望・希望利用時間		○
	【12-2】放課後児童クラブの意向の有無		○
	【12-3】小学校高学年(4～6年生)時の放課後過ごさせたい場所		○
	【13】放課後児童クラブを利用していない理由		○
	【13-1】今後の放課後児童クラブの利用意向の有無		○
	【14】放課後児童クラブ・子ども教室の整備意向		○
子どもの病気の際の対応	【15】夏休みの見守り・ふれあい活動の利用希望		○
	【16】子どもの病気やケガで小学校を休まなければならなかったことの有無		○
	【16-1】子どもが病気やケガで小学校を休まなければならなかった場合の対処方法・日数		○
宿泊を伴う保護者の用事の際の対応	【16-2】できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか／利用したいと思った日数		○
	【17】保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時の対処方法・宿泊数		○
子育て支援等全般	【18】子育て支援に関する自由意見		○